

鯉ノ浦川隣1・鯉ノ浦川隣2 災害関連緊急砂防事業に 関する説明会（第2回）

令和元年7月5日

 広島県西部建設事務所呉支所

本日の説明内容

住民の皆様および土地所有者の皆様対象

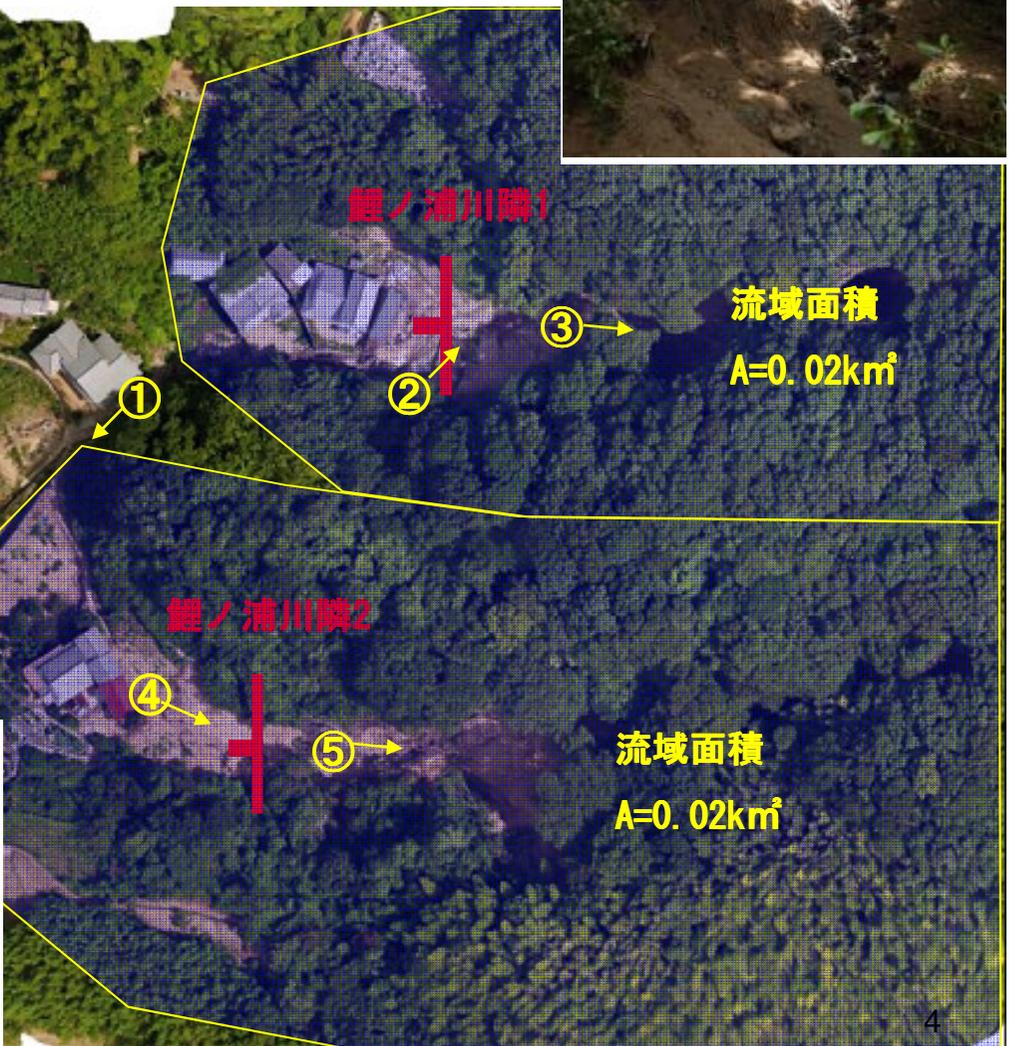
- ① 砂防ダム等の計画について
- ② 事業工程と今後のスケジュール
- ③ 事業実施にあたってのお願い
- ④ 質疑応答

土地所有者の皆様対象

- ⑤ 砂防指定地の範囲について
- ⑥ 土地境界の確認について(机上)

①砂防ダム等の計画について

鯉ノ浦川隣1・2の状況



土砂災害警戒区域等の状況



土砂災害ポータルひろしま



令和元年6月6日 指定前

防災情報(参考)(ソフト対策)

土砂災害ポータルひろしま

どこからどこへ逃げるかを知る

土砂災害警戒区域・特別警戒区域図等

基礎調査及び説明会のお知らせ

お知らせ

2019.6.6
「土砂災害警戒区域・特別警戒区域図」において、坂町小幡浦小学校区の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域を指定しました。

2019.6.6
「土砂災害警戒区域・特別警戒区域図」において、横山市有馬小学校区の土砂災害警戒区域等の解除及び指定をしました。

2019.6.6
「土砂災害警戒区域・特別警戒区域図」において、広島市南区樟部小学校区、広島市安芸区垣賀小学校区、呉市倉橋小学校区、吉瀬小学校区、明徳小学校区、三原市三原小学校区、大和小学校区及び(旧)船木小学校区、尾道市吉和小学校区及び向島中央小学校区、横山市神村小学校区、江田島市江田島小学校区、鞆野町鞆野第一小学校区の基礎調査結果を追加しました。

ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える

～身近な土砂災害を知ろう～
～土砂災害について学ぼう～
～土砂災害を未来へ伝えよう～
～災害の記憶つなぐ人の輪づくり～

土砂災害 啓発・伝達プロジェクト

【最初にお読みください】区域図等のご利用にあたって

いつ逃げるかを知る

土砂災害警戒情報(現在の状況)

大雨注意報・警報・特別警報
土砂災害警戒情報

現在の状況を詳しく見る

土砂災害危険度情報 広島防災Web 防災情報メール通知

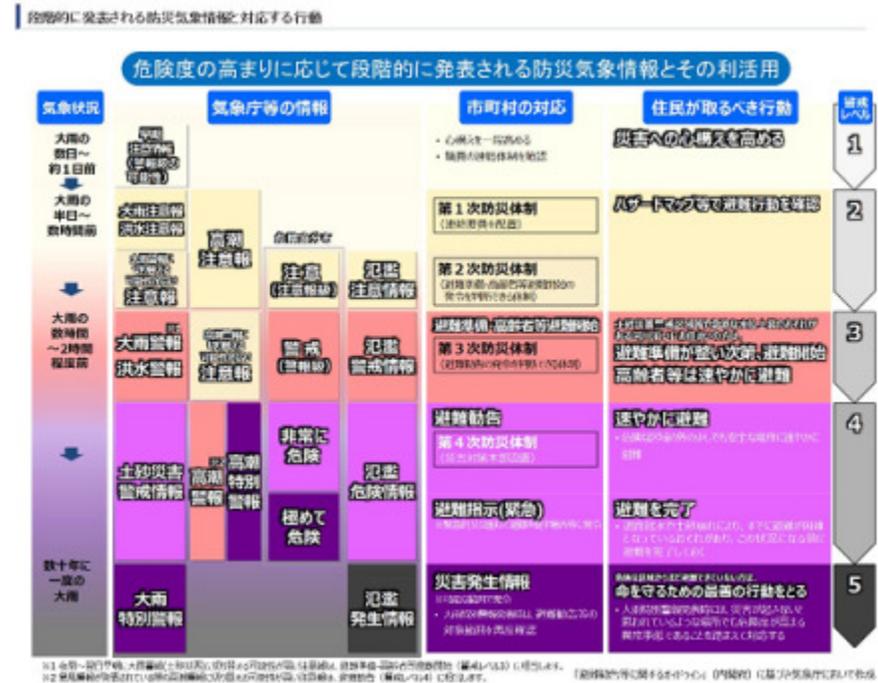
おすすめコンテンツ

地域の防災情報アニマイズ
基礎調査及び説明会のお知らせ
GISデータのダウンロード
砂防資料館(各種パンフレットや土砂災害危険箇所等に関する情報など)
Googleや電子国土式土砂災害危険箇所図などを見る
オリジナルハザードマップを作成

【お問い合わせ先】広島県砂防課 TEL:082-221-3764 Eメール: dosakou@pref.hiroshima.jp

今日のアクセス: 752 / 累計アクセス: 2,346,308

土砂災害ポータルひろしま

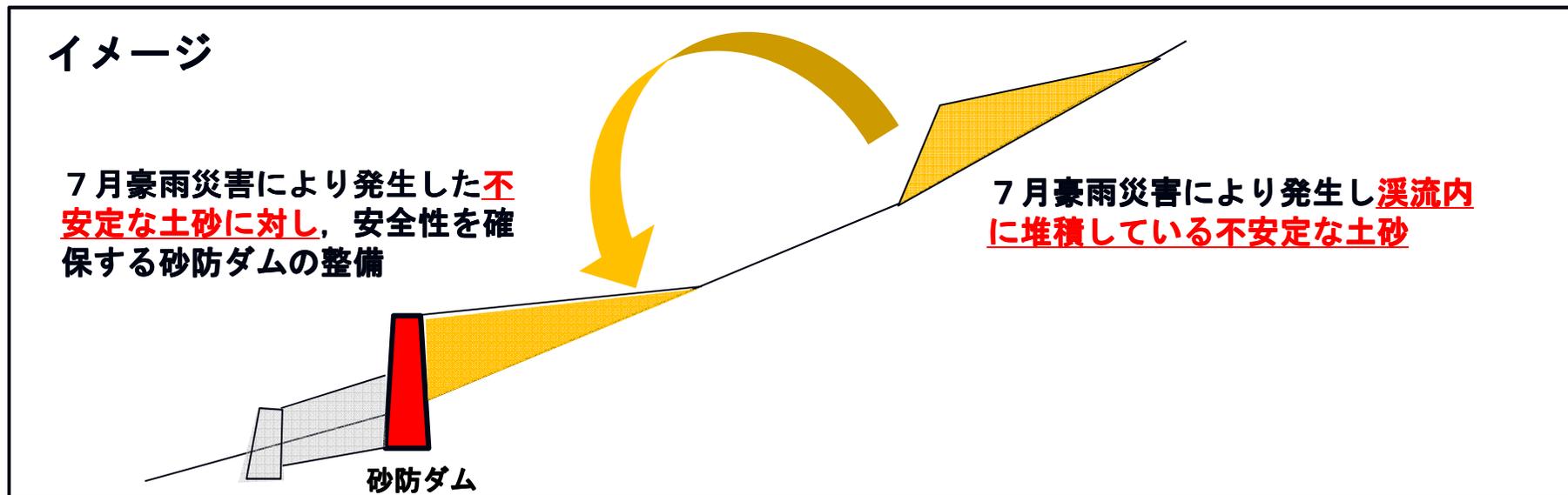


気象庁ホームページ

鯉ノ浦川隣1・2で実施する砂防事業

○災害関連緊急砂防事業

風水害，震災，火山活動等による土砂の崩壊等危険な状況に緊急に対処するための砂防設備の設置を目的とする。



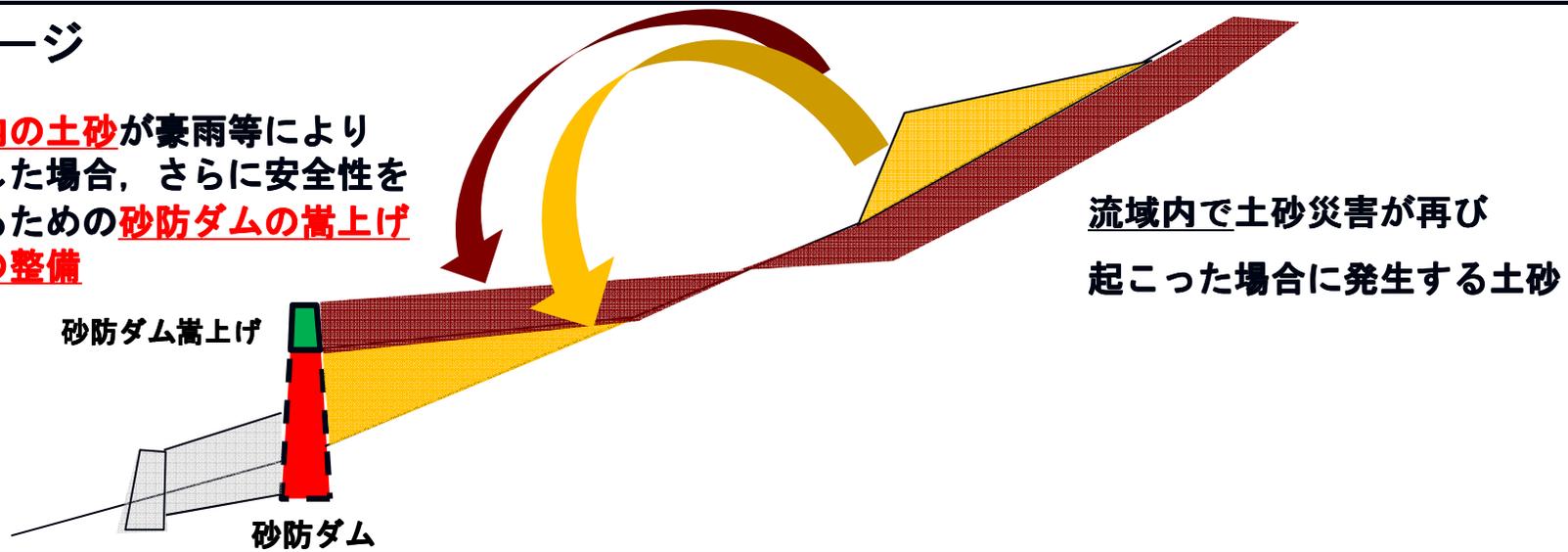
鯉ノ浦川隣1・2で実施する砂防事業

○砂防激甚災害対策特別緊急事業

土石流等により激甚な災害が発生した一連地区の荒廃溪流に対し、再度災害を防止するため、一定期間内に一定計画に基づく対策工事を実施し、災害対策の万全を期すことを目的

イメージ

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための**砂防ダムの嵩上げ**などの整備



【被災例】



【施工例】



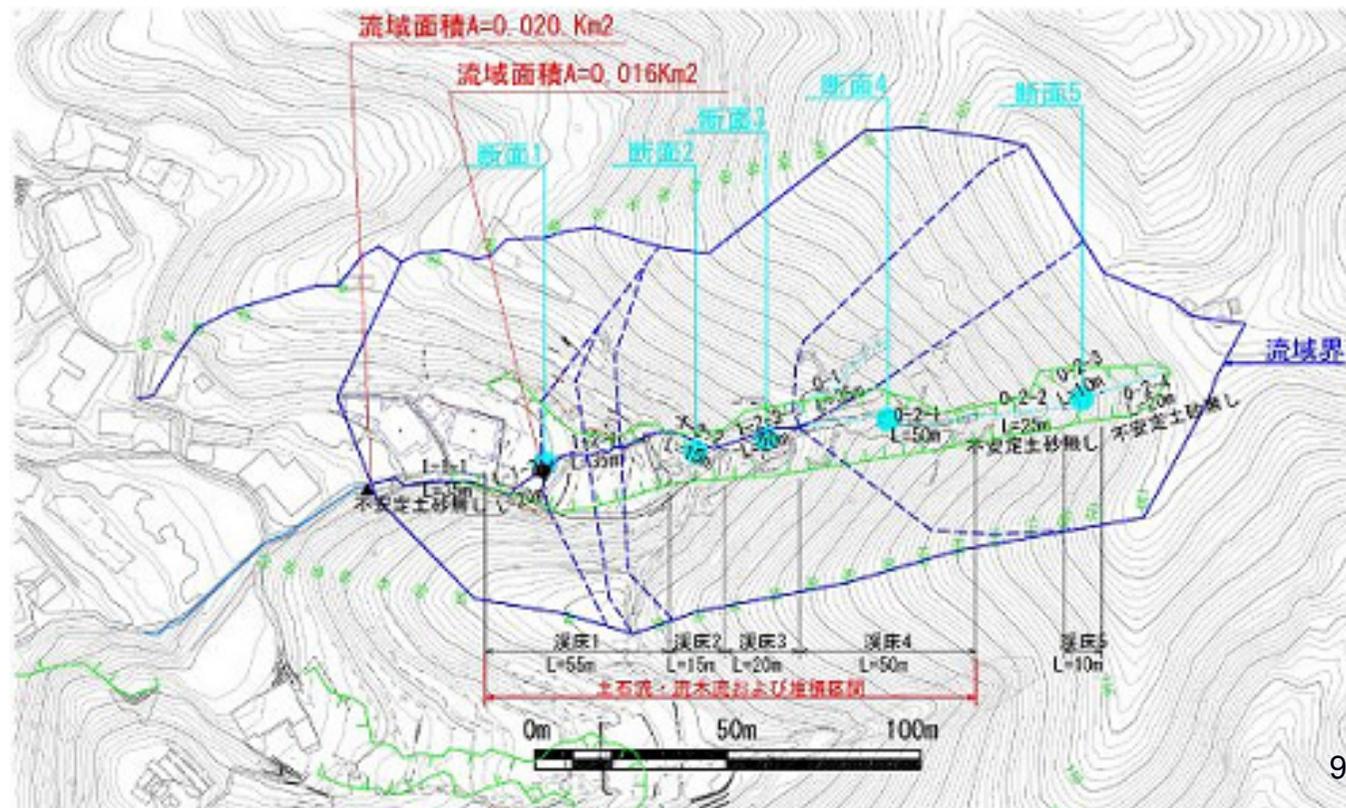
鯉ノ浦川隣1の堆積土砂

縦断方向 模式図

溪流内に堆積している
不安定な土砂
約1,210m³ (流木約10m³)

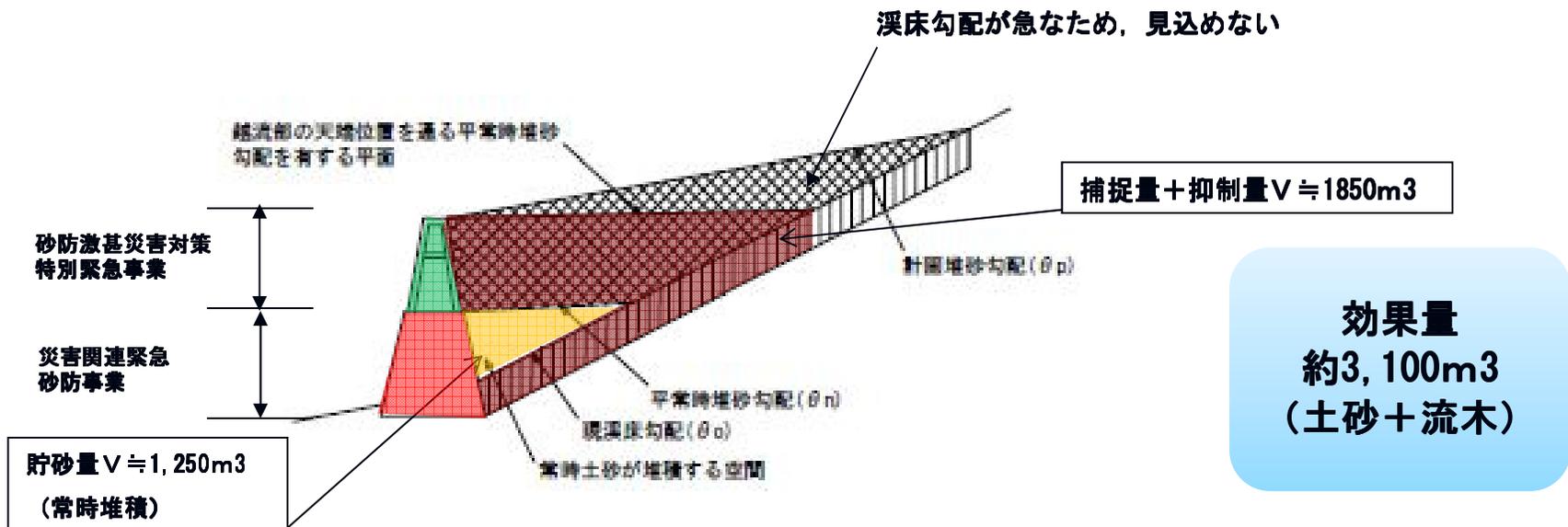
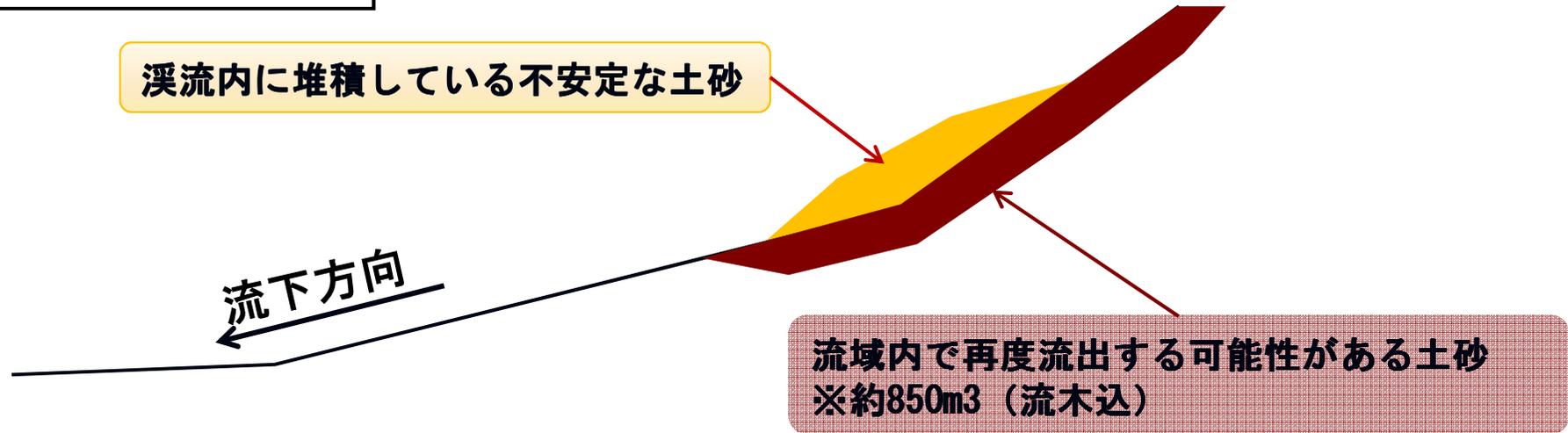
※礫径は0.70m (平均0.15m)

流下方向



鯉ノ浦川隣1の効果量

縦断方向 模式図



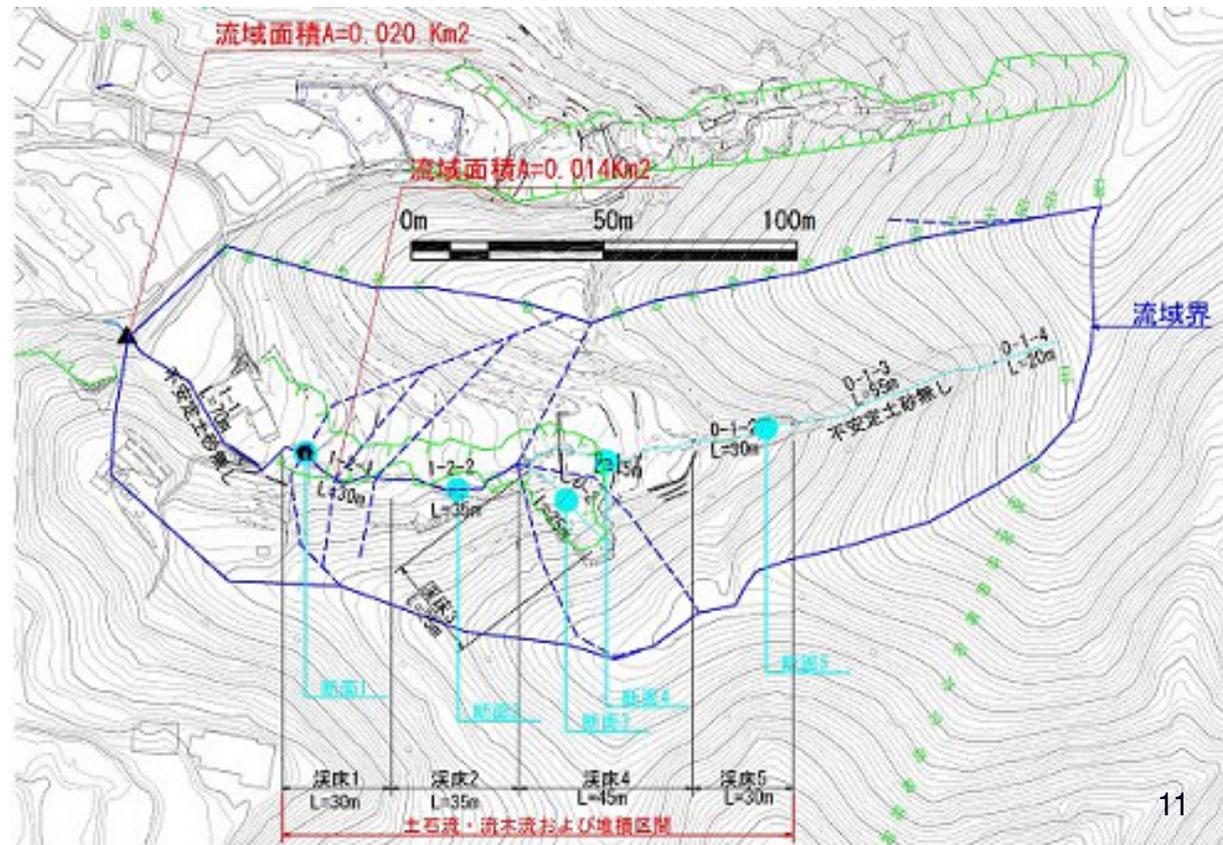
鯉ノ浦川隣2の堆積土砂

縦断方向 模式図

溪流内に堆積している
不安定な土砂
約1,630m³ (流木約30m³)

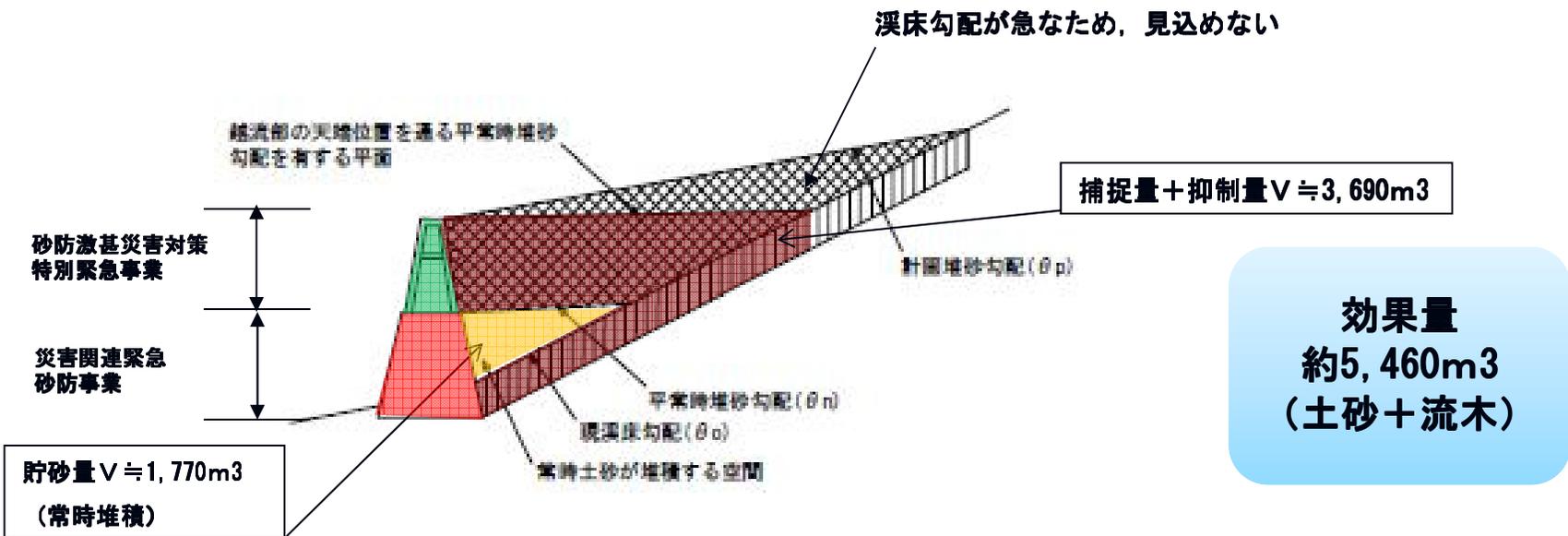
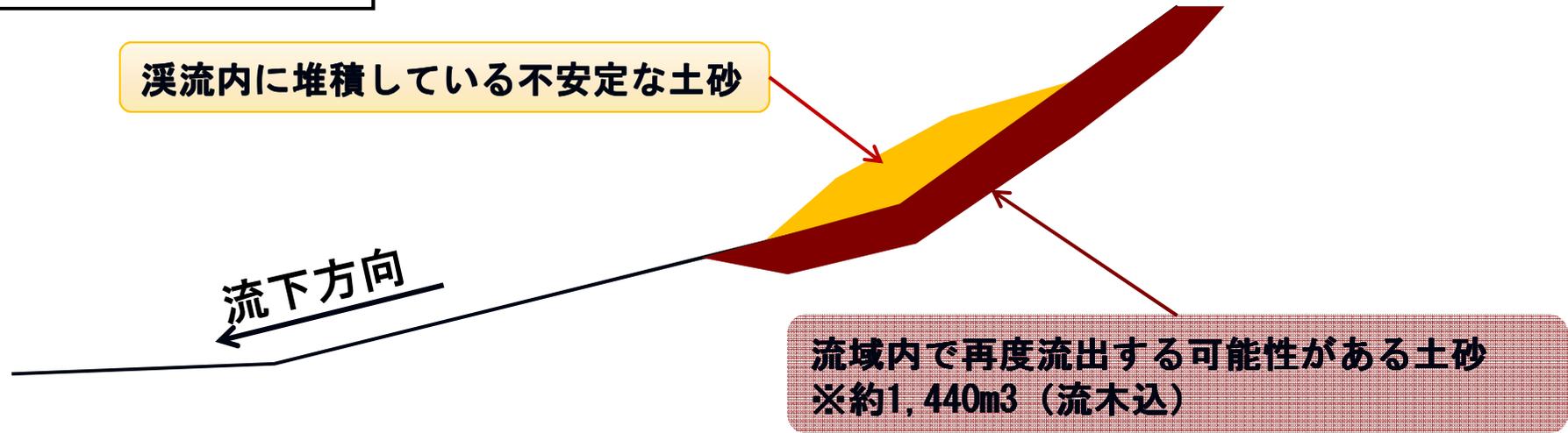
※礫径は0.60m (平均0.15m)

流下方向



鯉ノ浦川隣2の効果量

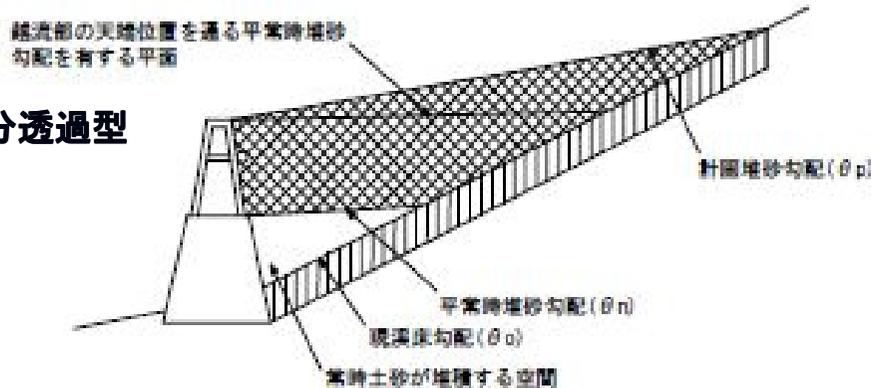
縦断方向 模式図



鯉ノ浦川隣1・2のダム形式

○砂防ダムの形式は、透過型・不透過型・部分透過型があり、最大礫径や現場条件を考慮し部分透過型を採用

○部分透過型



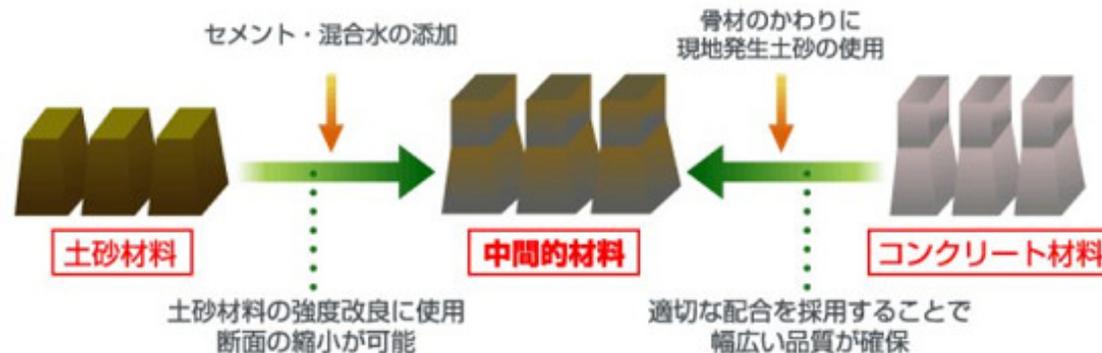
透過部分に巨石や流木を捕捉



除石（流木含む）管理型

○砂防ダムの材料は、コンクリート・鋼製・砂防ソイルセメント・石積・フィルがあり、現場条件等から砂防ソイルセメントを採用

・砂防ソイルセメントとは、セメントを用いて土砂を安定処理したもので、掘削などによる現地発生土砂とセメント又はセメントミルクを混合した材料



鯉ノ浦川隣1・2のダムの工法

○砂防ソイルセメントは、転圧タイプ（INSEM）と流動タイプ（ISM）があり、転圧タイプ（INSEM）を採用

施工性・経済性等を比較 → INSEMダブルウォール工法を採用

INSEMダブルウォール工法の概要

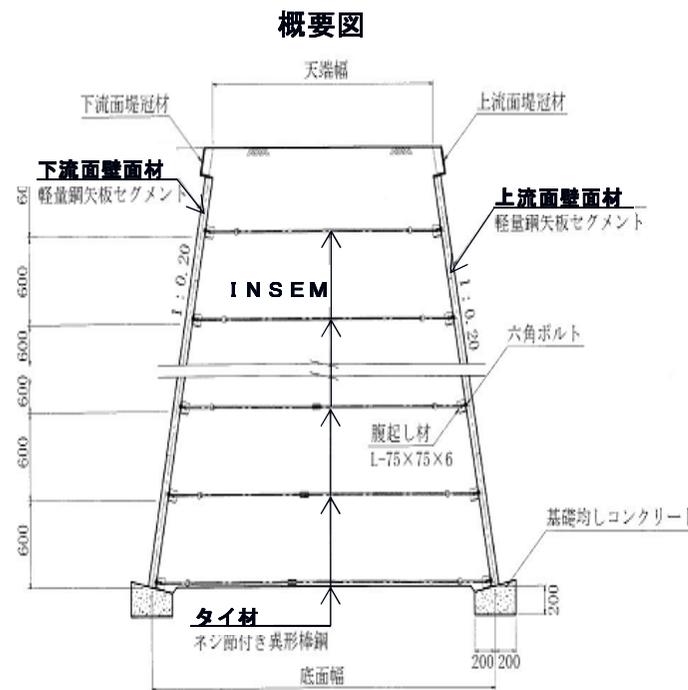
- ・上下流面を構成する壁面材を多段のタイ材で連結した中に中詰材として砂防ソイルセメントのINSEMを使用

○主なメリット

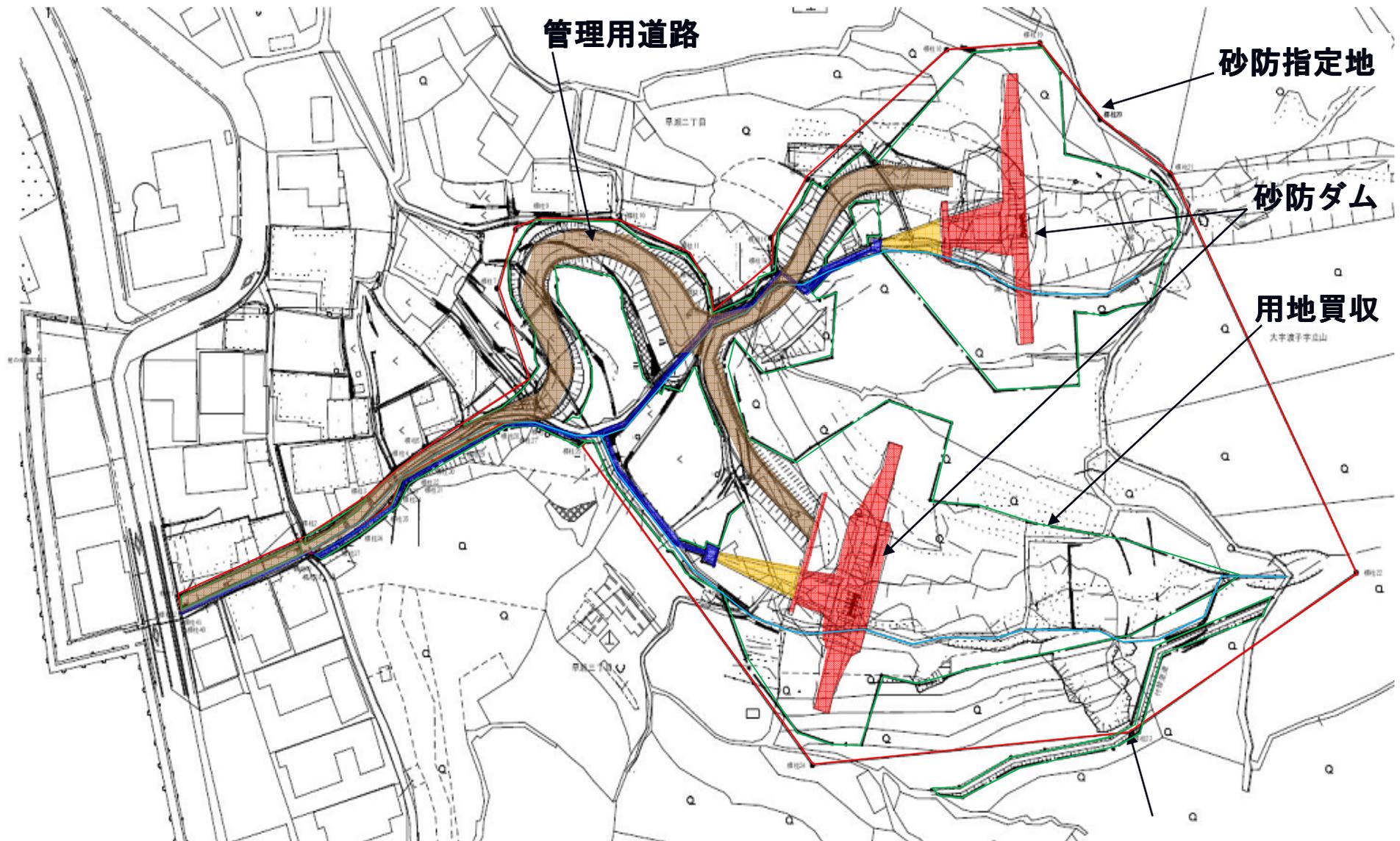
- ・現地発生土砂を有効利用
- ・土砂搬出や処分量が減少
- ・生コン車等の工事用車両の出入りが減少
- ・コンクリートダムより施工性に優れる



地域住民の負担軽減
コスト縮減
工期短縮

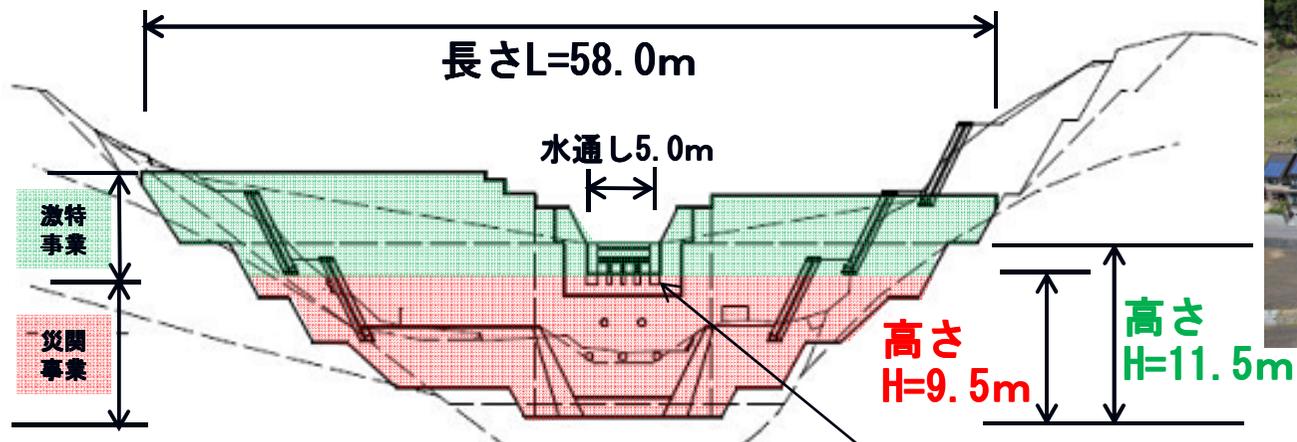


砂防ダム の位置

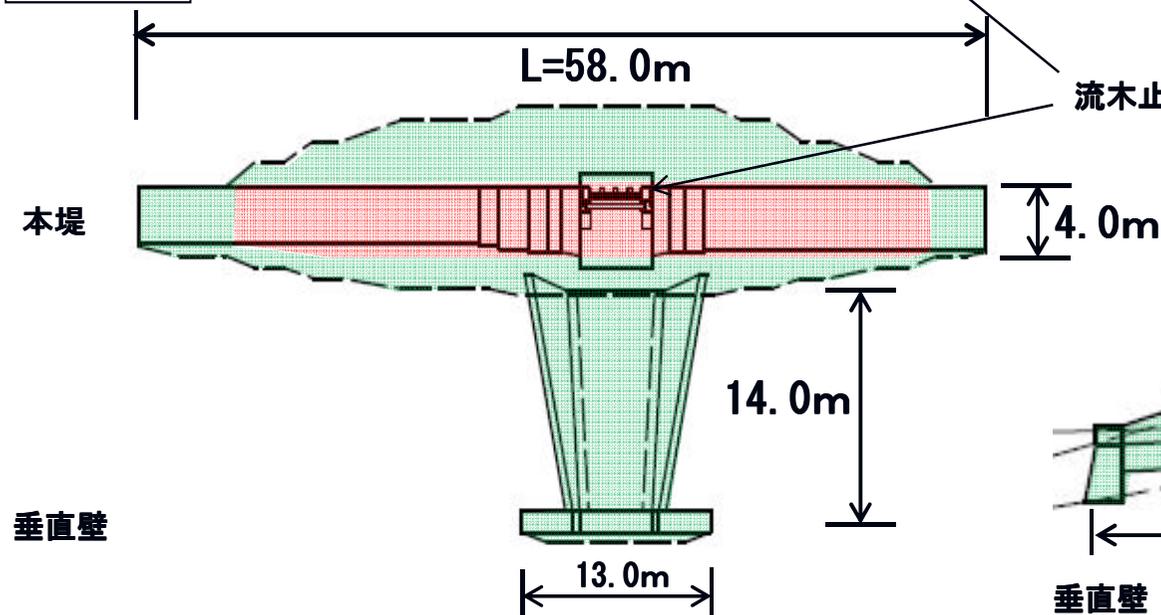


砂防ダムのご大きさ(鯉ノ浦川隣1)

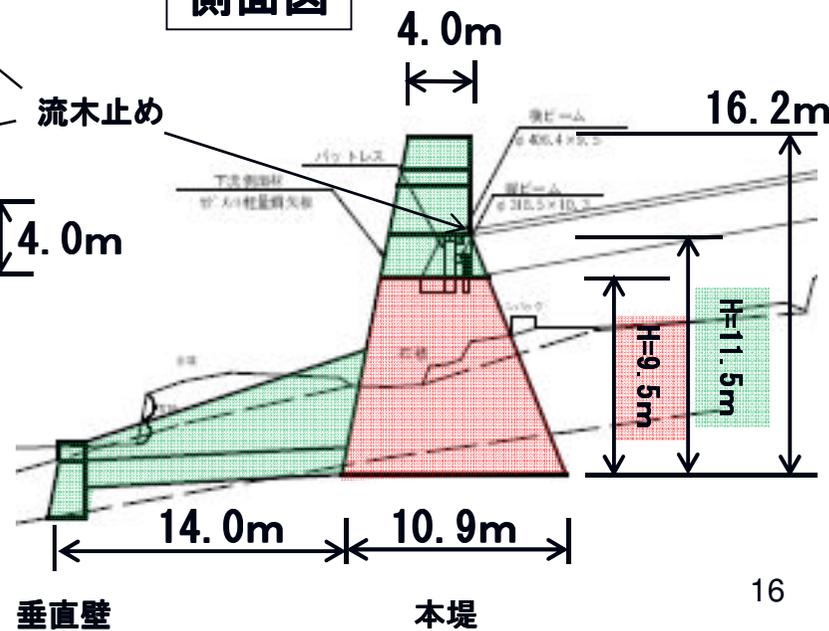
正面図



平面図

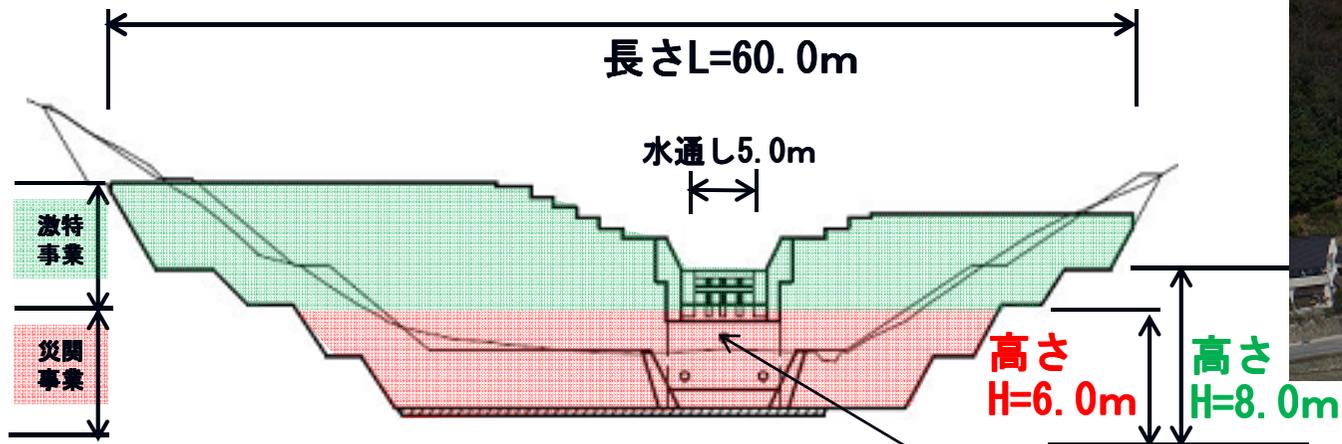


側面図

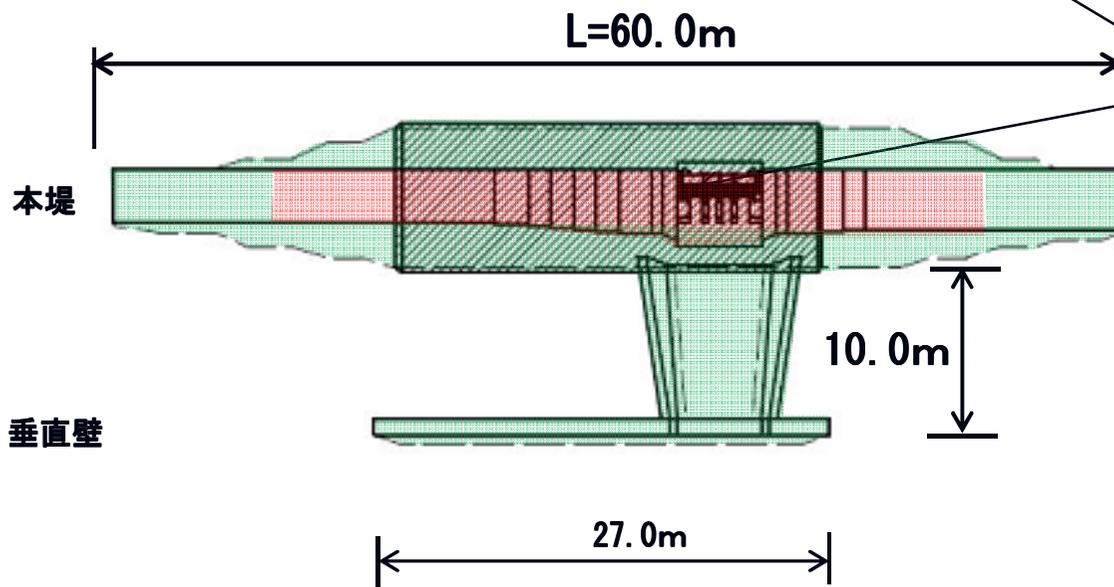


砂防ダムのご大きさ(鯉ノ浦川隣2)

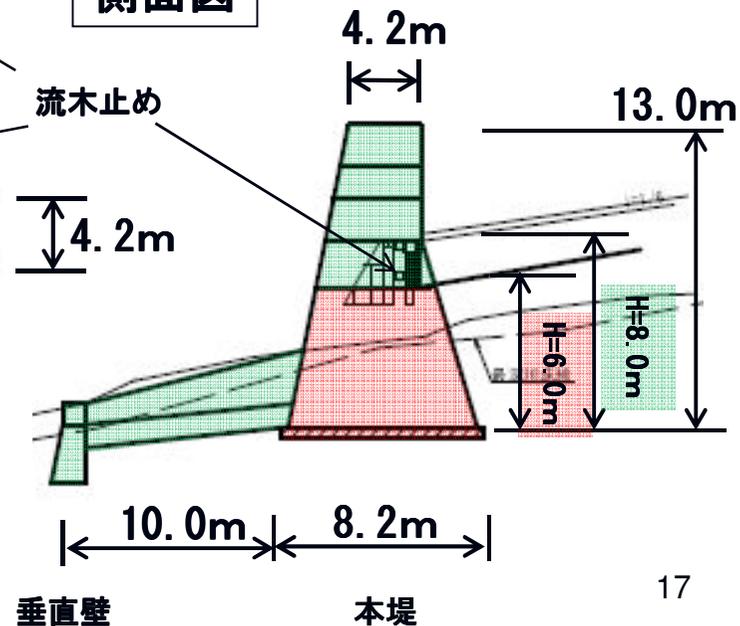
正面図



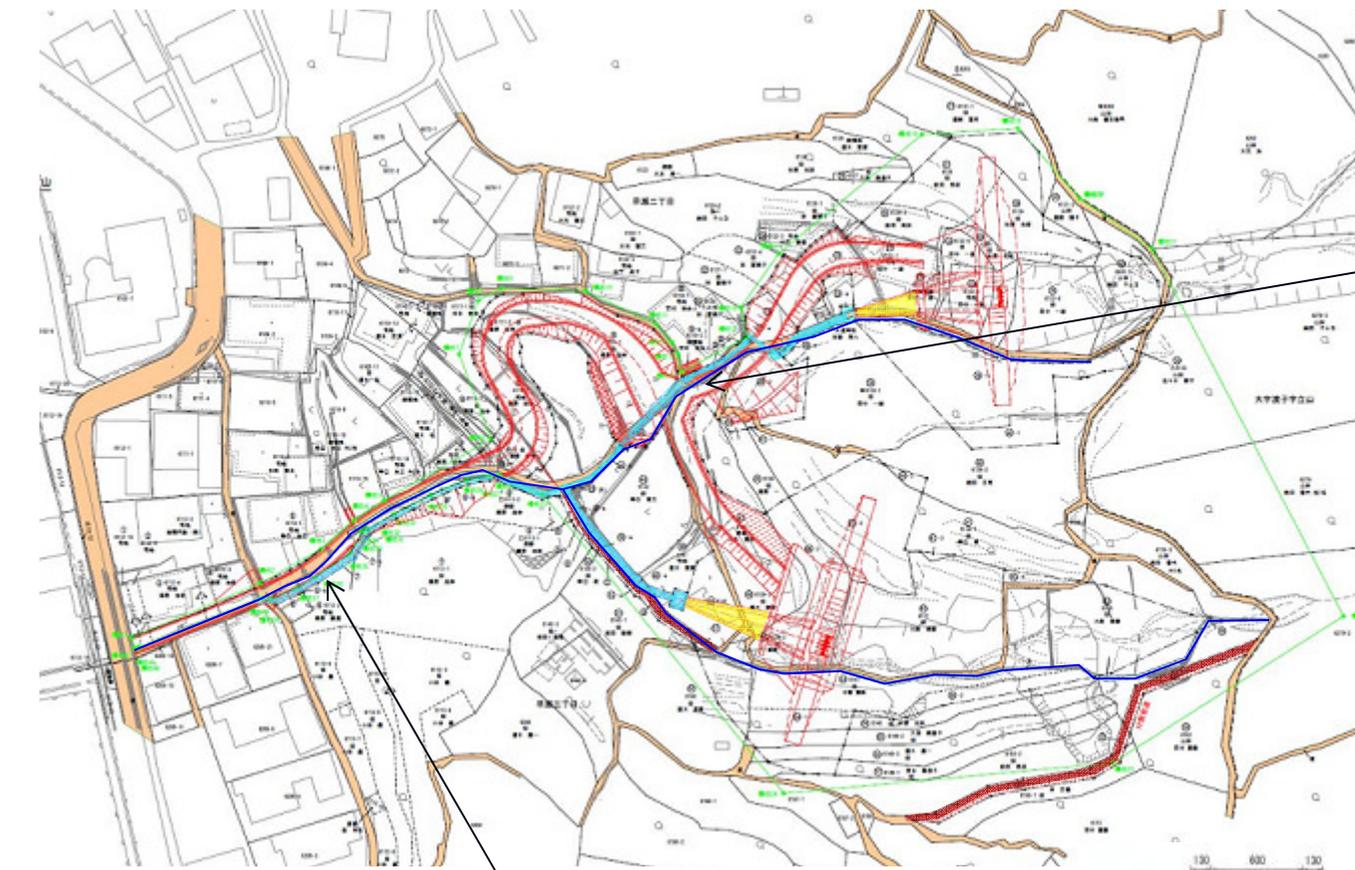
平面図



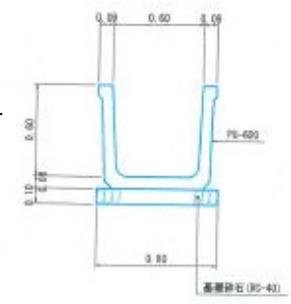
側面図



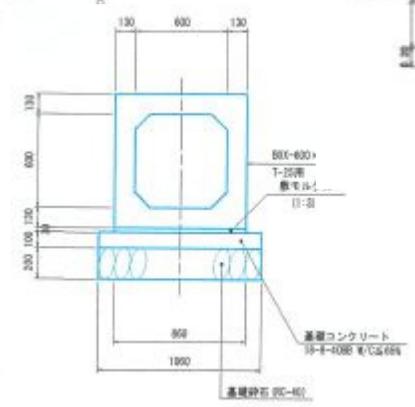
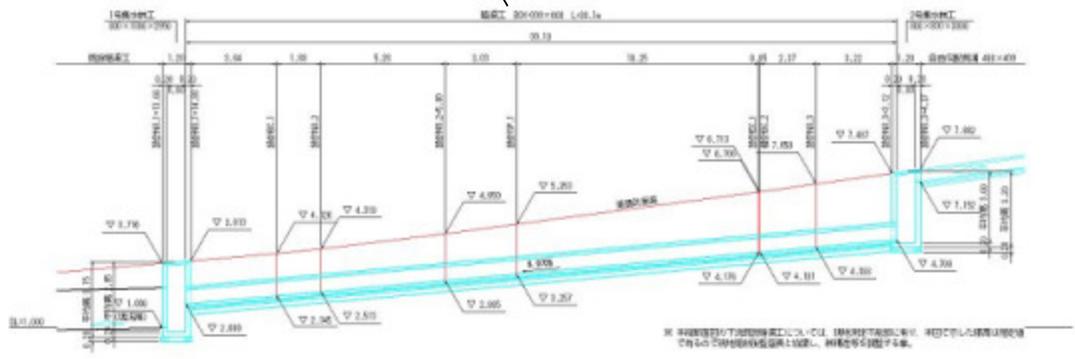
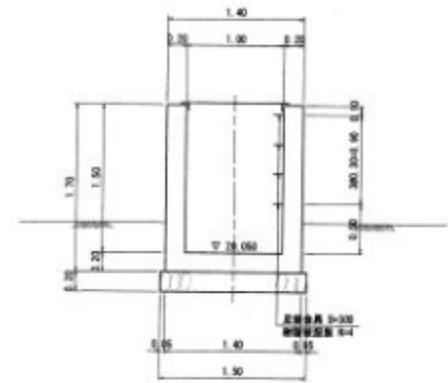
その他施設等 (信木川及び信木川支川・付替里道)



PU-600



集水樹



砂防ダムの効果事例

砂防堰堤が土石流・流木を捕捉 (広島県呉市吉浦町)

くれし よしうらちょう

■ 広島県呉市吉浦町の宮川第2支川において広島県の砂防堰堤が土石流・流木を捕捉

みやがわだいにしせん



砂防ダムの土砂調節

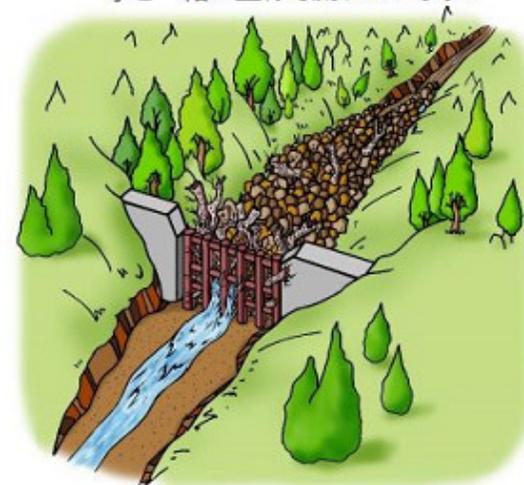
透過型砂防堰堤が土石流をとらえる働き



① 川(溪流)ではいつも、水と一緒に土砂も流れています。



② 透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます。



③ 大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。



④ 堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。

砂防ダムの管理

定期点検 : 1回/5年 施設の各部位の劣化・損傷・堆積状況等を確認。

緊急時点検・管理 : 緊急時は速やかに点検を行い必要に応じて土砂及び流木の除去を行う。

The screenshot shows the website '広島県のインフラ老朽化対策' (Hiroshima Prefecture Infrastructure Aging Countermeasures). The navigation menu includes: トップ, 老朽化対策, 長寿命化技術, 道路, 河川, ダム, 砂防, 港湾, 海岸, 下水道, 公園. The 'お知らせ' (Notice) section contains the following text:

- H31.4.22 長寿命化技術活用制度の登録技術を更新(6技術追加登録, 2技術更新)
- H30.4.1 長寿命化技術活用制度の登録技術を更新(21技術更新)
- H30.3.5 長寿命化技術活用制度の登録技術を追加(9技術追加登録)
- H30.11.17 長寿命化技術活用制度の登録技術を更新(21技術更新)

広島県のインフラ老朽化対策で点検結果を公表

②事業工程と 今後のスケジュール

事業工程と今後のスケジュール

	令和元年								令和2年				
	~5月	6月	7/5	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降
詳細設計等	■		-										
用地図面等作成	■												
砂防指定地書類作成及び申請		■											
用地交渉・取得				■									
工事				■		■							

注:進捗状況によっては、工程が前後する場合があります。

:砂防指定地申請書には所有者の同意が必要で国土交通大臣の指定までに申請書提出から1ヶ月半から約2ヶ月を要する。

:契約書の準備や相続関係で用地交渉・取得に時間を要する場合は、起工承諾をお願いする場合があります。

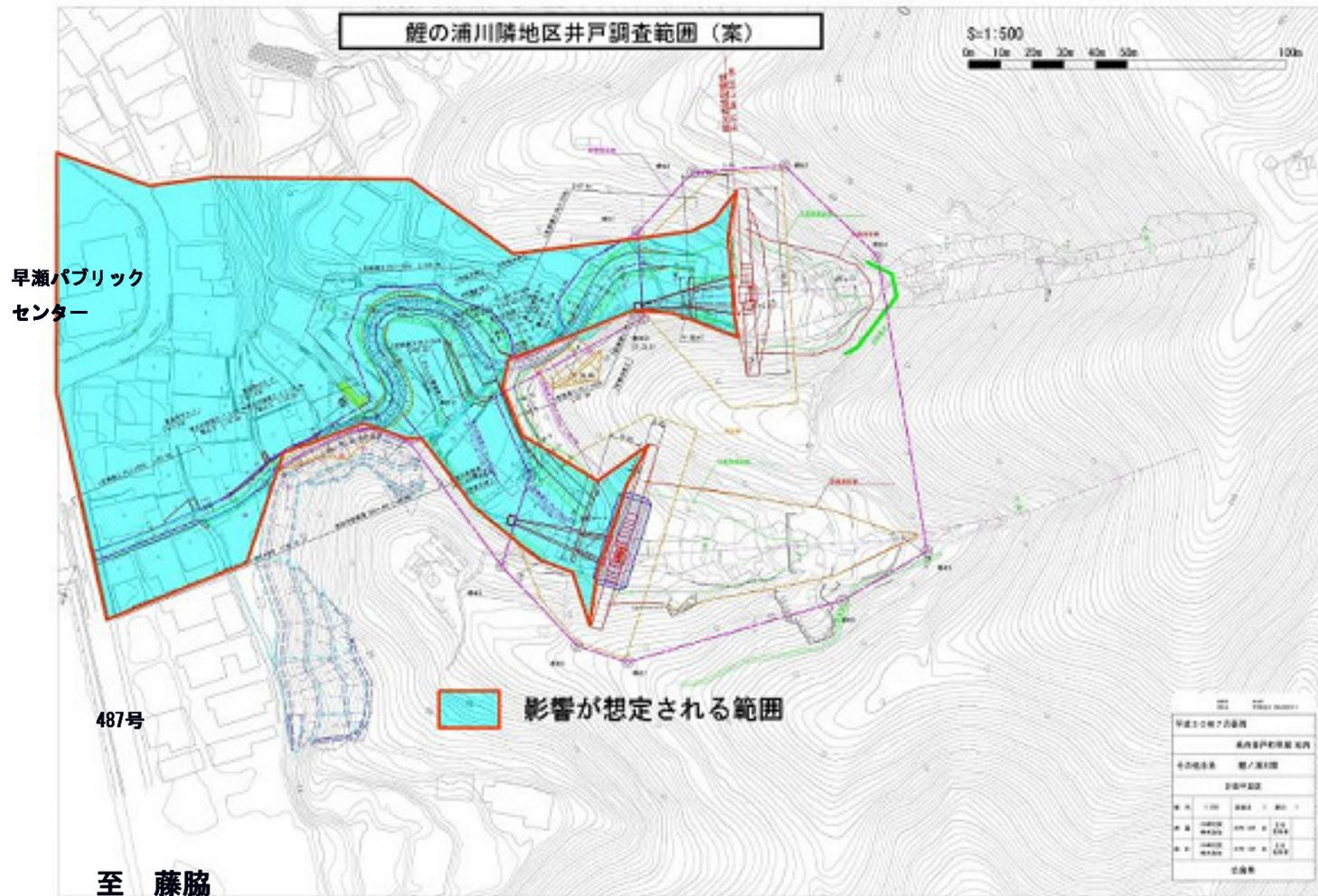
:工事範囲は、災害関連緊急砂防事業分と砂防激基災害対策特別緊急事業分があり、令和2年4月以降も引き続き工事を予定。

③事業実施にあたって

井戸調査について

工事を実施することにより、井戸に影響が出る可能性があります。

工事による影響かどうか因果関係を確かめるために、事前に井戸調査を実施する必要があります。（影響が想定される範囲に井戸を所有されている方は教えてください。）



境界立会について

用地取得に先立ち、土地の境界を確定する必要があります。しかしながら、被災地での立会は危険性を伴いますので、境界の確認は、基本的には図面上で行い、必要に応じて現地での立会を行うことを考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

砂防指定地の指定

○砂防指定地

砂防法（明治30年3月30日法律第29号）第2条に基づき、砂防設備を要する土地又は治水上砂防のために一定の行為を禁止し若しくは制限するべき土地として国土交通大臣が指定した土地の区域です。

工事の実施に先立ち、砂防指定地として指定する必要がある、土地所有者の同意が必要となります。

指定できない場合は、工事が実施できませんのでご協力をお願いします。

砂防指定地の指定(範囲)



砂防指定地の指定(制限行為)

【砂防指定地内】においては、次の行為について、県知事の許可が必要となります。

- のり切, 切土, 掘削又は盛土
- 立木竹の伐採
- 木竹の滑下又は地引きによる搬出
- 土石の類の採取若しくは鉱物の採掘又はこれらの堆積若しくは投棄
- 牛, 馬その他の畜類の放牧又は係留
- 砂防設備以外の施設又は工作物の設置, 改造又は除却

その他(お願い)

- 工事が始まった際には、ダンプトラック等の工事用車両が頻繁に通行します。
- 掘削及び現地発生土砂とセメント等を攪拌・混合する作業工程もあり、騒音や粉塵が発生します。請負業者への指導を行い対策を検討します。

大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。